

## 音声録音ソフトの導入(3)

### —Moo0 の評価(3)—

#### 1. 始めに

前報(2)において Moo0 による録音の目途がたちましたので、音源対象を広げて録音していきます。

#### 2. Moo0 録音時の条件設定

前報(2)における Moo0 の録音条件を踏襲します。

録音対象は次の音源です。

**Spotify** バッハ：Goldberg 変奏曲

**TIDAL** バッハ：無伴奏ソナタ 2 番

**PrimeSeat** ベートーヴェン：ト調のメヌエット (平野玲音チェロ・リサイタル)



#### 3. Moo0 による録音と再生結果

**Spotify** および **TIDAL** のストリーミング音源は問題なく、録音と再生が可能でした。しかしながら **PrimeSeat** の場合は、音源が 5.6MHzDSD であり、アプリ上で再生フォーマットの指定をするようになっており、実際に DA コンバーターの表示も 5.6MHzDSD となっており、サウンドの指定である 44.1KHz16bit ではありません。録音音源は無音になっており、5.6MHzDSD→44.1KHz16bit の変換による録音はできませんでした。

**Spotify** および **TIDAL** は、Play List に指定しておけば、随時再生できますので録音の意義は薄いと思われます。一方、**PrimeSeat** の場合は、公開期間が限定される音源がありますので、録音できれば有益と考えられますが、録音はできませんでした。

#### 4. まとめ

ストリーミング音源でも録音できるものとできないものがあることが分りました。

以上